

**テレビ番組を話題とした
2ちゃんねる上のコミュニ
ケーションに関する検討**

－ Twitter との比較を通して－

志岐裕子

テレビ番組を話題とした 2ちゃんねる上のコミュニケーションに関する検討

——Twitter との比較を通して——

志岐裕子



▶ 1. 問 題

本稿は、テレビ番組に関して投稿されたインターネット上の書き込みを内容分析することを通じて、視聴者がテレビ番組を話題としてインターネットに書き込みをおこなう際、利用するサービス（言い換えれば、書き込みをおこなう「場」）によって、その内容やテレビ番組において注目する点にどのような特徴があらわれるのかという問題について検討することを目的とする。

近年、インターネット技術のさらなる発展、とりわけモバイルデバイスにおけるネット技術の発達によって、電子掲示板やソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）といった発信型サービスの種類が増加するとともに、また、そこへ参加するユーザーの数もさらに伸びている（総務省、2015）。こうした傾向によって、テレビとインターネットの並行利用、すなわち番組を視聴しながら、その内容をネット上に書き込んだり、他のユーザーと意見を交わしたりする傾向も増えていると考えられる（小島・執行、2014；三浦・小林、2010；志岐、2013；志岐・村山・藤田、2009；志岐・渋谷・萩原、2012 など）。

こうした視聴者による書き込みがおこなわれるサービスにおいて、テレビ番組はコミュニケーションが始まる契機、すなわち最初の情報提供者としての役割を担っている。テレビ番組を見ながらのネットへの書き込みは今や日常的な行為といってもよい。ただし、それぞれのインターネット上のサービスは、プログラムとしてのシステムは勿論、インターフェイスもそれぞれの目的に合わせて最適化されたかたちで設計されている。最も典型的な違いを挙げれば、2ちゃんねるのような電子掲示板は、“コミュニティ”として、同じテーマに関心を持つ人々が集まっており、コミュニケーションがいわばリニアに動いている。そこでは話題のメインストリームがでやすく、そこから少し外れた書き込みがあると「流れに乗っていない」と感じられる。一方、Twitter はそれぞれの投稿が「点（＝それぞれが個別に投稿した書き込み）」としてタイムライン上にあらわれる。Twitter にはハッシュタグという同じ話題について発言している人の投稿内容を一覧として表示させる機能があり、テレビを見ながらツイートを投稿する際などによく使用される。これは投稿を時間軸に沿ってリニアに整理させはするが、あくまでも「点の集合体」であり、2ちゃんねるのような継続的な議論にはなりにくいと考えられる（志岐、2015）。

こうした、インターフェイスやシステムなどをはじめとしたサービスの違いは、テレビ番組をもとに情報を発信する視聴者の意識にどのような影響を与え、また、その書き込みにどのような違いをもたらすのだろうか（あるいはもたらさないのだろうか）。以上のような関心のもと、筆者は探索的研究として、特定の番組に関して投稿された2ちゃんねる上の書き込みについて内容分析を実施し、同様の分析をTwitter上の書き込みについておこなった結果と比較した。具体的には、Twitterと2ちゃんねる上で取り上げられる話題、書き込み件数の推移、放送内容と投稿内容の関係性といった視点から、実際に投稿された内容にみられる特徴を明らかにすることに焦点を当て分析を実施した。本研究のうち、Twitterについてはすでに報告済みであるため（志岐，2015；以下、関連研究と呼ぶ）、本稿では2ちゃんねる上の書き込みについての内容分析結果を報告する。テレビ番組の視聴者が2ちゃんねる上で番組について投稿するとき、彼らは番組のどのような点に注目しコメントの投稿をおこなうのか、という問題について検討するとともに、同番組についてTwitter上に投稿されたツイートについて内容分析した関連研究結果（志岐，2015）と比較することで、利用するサービスによって投稿内容にどのような違いがみられるかについても考察していきたい。

▶ 2. 方法

2-1. 分析対象

2014年7月26日（土）18時30分から27日（日）20時54分にかけて放送された『武器はテレビ。SMAP×FNS 27時間テレビ』（FNS系列）に関する2ちゃんねる上での投稿を分析対象とした。当該番組を分析対象として採用した理由は、娯楽系のテレビ番組がインターネットとの親和性が高いため（志岐，2013）、そして放送内容が多様であることから、あらゆる視聴者の反応をデータとして確保することが可能なためである。本稿ではこのうち、番組の2日目の18時20分から放送終了後の20時59分までに投稿された内容について分析した結果を報告する⁽¹⁾。投稿された書き込みの収集は、2ちゃんねるにおける当該番組の実況板スレッドへの投稿を収集した。そのうち、上記の分析対象に該当する時間帯に投稿された書き込みの件数は23,872件であった。これらの書き込みのうち、複数行にわたるアスキーアート（AA）は分析処理が不可能であるため除外した（ただし、AAとともに意味を成す文章や単語が含まれている場合には、その部分だけを残し分析対象に含めた）。最終的に、23,822件の書き込みを以下の分析対象とした。

2-2. 分析方法

まず、関連研究（志岐，2015）と同様に、放送された番組内容にしたがい番組を5つのパートに区分した。その後、分析対象となる書き込みを、その投稿時刻にしたがって、「5つのパート」＋「放送終了後」の6つに区分した。本研究では、投稿全体にみられる特徴だけでなく、各パートにみられる特徴を探るため、『社会調査のための計量テキスト分析（樋口，2014）』にしたがい、上記6つの区分を「H1」とする分析対象データのHTMLマーキングをおこなった。

分析では、投稿された書き込みについて、頻出語、語と語の共起関係をKH Coder⁽²⁾を用いたテキストマイニングをおこなうことにより検討した。また、必要に応じてその他の追加的な分析も実施した。これらの結果を参照しながら、視聴者が番組のどのような点に注目しているのか、また、2ちゃんねる上の投稿からはどのような特徴が見出されるか、Twitterへ投稿された同番組に対するツイートと比較してどのような共通点や相違点がみられるかという問題について検討をおこなった。

3. 結果

3-1. 番組内容と書き込み件数の推移

番組内容の区分（表1）にしたがって、分析対象データを（Ⅰ）アニメ：サザエさん、（Ⅱ）ライブ会場レポート、（Ⅲ）音楽：SMAP ノンストップライブ、（Ⅳ）サプライズ発表・ライブの感想、（Ⅴ）フィナーレ、（Ⅵ）放送終了後の6つのパートに区分した。

分析対象の投稿 23,822 件のうち、第Ⅰ部に投稿されたものが 2,332 件（平均 83.3 件／分）、第Ⅱ部が 2,329 件（平均 96.9 件／分）、第Ⅲ部が 10,388 件（平均 199.8 件／分）、第Ⅳ部が 2,732 件（平均 248.4 件／分）、第Ⅴ部が 5,824 件（平均 166.4 件／分）、第Ⅵ部が 217 件（平均 43.41 件／分）であった。番組放送時間内（第Ⅰ部から第Ⅴ部）に投稿されたものが 23,605 件、放送終了後（第Ⅵ部）に投稿されたもの 217 件であった。書き込み件数の推移を 1 分刻みで示したものが図1である。

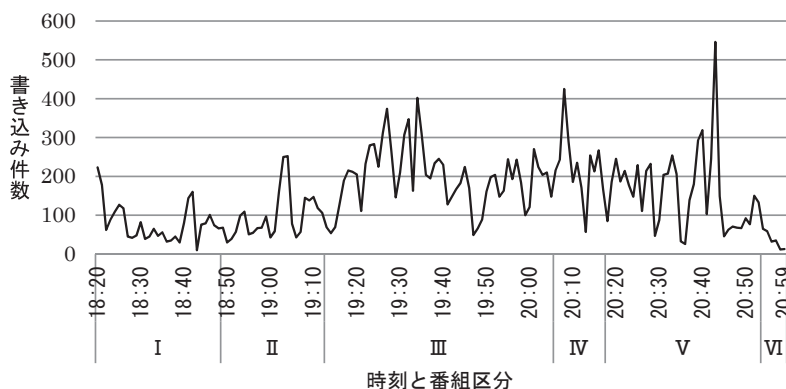
図1から、全体的に第Ⅲ部、第Ⅳ部、第Ⅴ部の書き込み件数が相対的に多いことがわか

●表1 『武器はテレビ。SMAP×FNS27 時間テレビ』の放送内容（分析対象部分）と区分

区分	放送時間	主な放送内容
I	9月27日 18:20-18:48	アニメ：サザエさん 星空の映画会/ぼくはヒーロー/笑顔のレシピ
II	18:49-19:12	ライブ会場レポート ほか ライブ会場レポート/さんま監督のCM披露/クイズ/ざわちんSMAPメイク完成/ライブ会場レポート/スペシャルプレゼンター・爆笑問題のトーク
III	19:13-20:05	音楽：SMAP ノンストップライブ SMAP ノンストップライブ/トーク
IV	20:06-20:17	サプライズ発表・ライブの感想 SMAP がフジテレビまで歩くことが発表される/ライブの感想（キャイ〜ン・森口博子・森脇健児・爆笑問題・山崎弘也・指原莉乃・劇団ひとり）
V	20:18-20:53	フィナーレ SMAPフジテレビまで歩く/SMAPへのメッセージ（笑福亭鶴瓶・ナインティナイン・松本人志・明石家さんま・ビートたけし・森田一義）/森且行からSMAPへの手紙/グランドフィナーレ/SMAPフジテレビ到着/新人アナウンサーによる提供スポンサー紹介/SMAPによる感想
VI	20:54-20:59	放送終了後

注）実際の放送は秒単位で番組コーナーが転換するため、実際の放送時刻との間に若干のズレが生じている場合がある。

図1 書き込み件数の推移



る。第Ⅲ部には番組の目玉企画ともいえる SMAP のノンストップライブが放送され、それ以降第Ⅴ部の放送終了前まで 200 件前後を推移しながら多くの書き込みがおこなわれている。

さらに、書き込みが急増したポイントがいくつか確認された⁽³⁾。具体的には① 19:03 頃：ざわちんの SMAP モノマネメイクが完成、披露する場面、② 19:32 頃：ライブ中の SMAP メンバー中居正広が座り込み、一瞬ステージ上からいなくなった場面、③ 20:08 頃：SMAP がライブ会場からフジテレビ本社まで歩いて帰るサプライズ企画が発表された場面、④ 20:16 頃：番組出演者たちがライブの感想の述べた場面、⑤ 20:39 頃：SMAP が並んで最後に坂道を上る場面、⑥ 20:43 頃：フジテレビ新人アナウンサーによる提供スポンサー紹介、である。特に多くの投稿が寄せられたのは 19:34 (402 件)：「世界に一つだけの花」のソロパートを中居・木村・草彅がそれぞれ歌う場面、20:08 (425 件)：サプライズ企画の発表、20:43 (546 件)：新人アナウンサーが提供スポンサーを紹介する場面のタイミングであった。

その後、書き込み件数は急激に減少し、番組終了後は、12~65 件 / 分のペースで投稿が続いていた (平均 36 件 / 分)。

3-2. 投稿者同士のコミュニケーション

2ちゃんねる上において、投稿者同士のコミュニケーションはどの程度おこなわれていたのだろうか。分析対象のなかから他の投稿者に宛てたメッセージを投稿する際に付与される「>>(コメント番号)」の文字列が含まれているものを検索し、さらにそれらの投稿が他の投稿者に宛てた書き込みであることを 1 件ずつチェックした上でカウントした結果、書き込み件数は 1,632 件 (6.85%) であった。番組区分別にみると、第Ⅰ部が 190 件、第Ⅱ部が 241 件、第Ⅲ部が 564 件、第Ⅳ部が 171 件、第Ⅴ部が 413 件、第Ⅵ部が 53 件であった。

3-3. 基本統計量および抽出語の選定

ここでは、各パートにおける書き込みの特徴を探る下準備として、分析対象全体の概要を確認する。まず、分析対象となった書き込み全体に対して形態素解析をおこなう必要があるが、分析対象データはインターネット上における発言であるため、ネット独特の言い回しを用いた投稿も数多い。なかにはソフトの基本設定では抽出されないものの分析においては抽出することが望ましい語が存在している。それらの語を抽出するために、次の段階からの分析において強制抽出する語の選定をおこなった。また、インターネット上の書き込みには多くの未知語が含まれていることも多いため、単独でも意味が把握しやすい品詞に絞って分析を実行した⁽⁴⁾。ただし、「未知語」に分類される語のなかでも「w」などネット用語として広く普及しているものは強制抽出し分析対象に含んだ。

上記の強制抽出および品詞の絞り込みの処理をおこなった後、分析対象に対し形態素解析をおこなった結果、総抽出語数は 262,953 語、異なり語数は 11,632 語、分析対象となっている語 (使用) は 6,266 語であった。抽出語の出現回数の平均は 14.32 回 ($SD=295.78$) であった。抽出語の出現回数と度数を確認したところ、出現回数が 1 回のみの抽出語は 2,797 語 (44.64%) であった。また、出現回数が 15 回以下の抽出語の累積度数は 5,624 語 (89.75%) であり、全体の約 9 割を占めていた。

3-4. 頻出語について

番組に関する投稿全体のなかでどのような語句が多く使われていたのかを確認するため、頻出語リストを作成した。上位 100 語をまとめたものが表 2 である。

●表2 頻出語リスト (上位 100 語)

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
w	22457	歩く	208	森	142	ワロタ	104
w	4919	テレビ	204	企画	137	メンバー	103
中居	2820	知る	202	森脇	137	休む	103
SMAP	956	声	201	大丈夫	137	女	103
森	819	顔	200	帽子	134	意味	102
キムタク	687	木村	200	体力	131	中井	101
キタ	629	似る	196	演出	130	無い	98
フジ	458	終わる	194	手紙	130	27時間テレビ	97
曲	434	凄い	190	泣ける	127	視聴	97
見る	410	頑張る	187	倒れる	126	寝る	94
フジテレビ	359	さんま	181	嵐	125	鬼	92
泣く	350	ダンス	179	クソ	124	仲居	92
感動	340	行く	177	見える	119	キレ	91
歌	338	プロ	170	香取	119	ブス	90
死ぬ	336	悪い	170	吾郎	118	後ろ	90
ライブ	331	人	170	好き	118	疲れる	90
言う	317	良い	170	面白い	118	佐野	88
思う	298	剛	168	来る	117	番組	88
スマップ	280	糞	166	ヤバ	116	ザキヤマ	87
出る	276	ゴロー	157	下手	114	指原	87
アイドル	256	ファン	147	ブラウン管	110	上手い	86
最後	241	太田	146	稲垣	109	マラソン	83
マジ	239	暑い	145	熱中	109	草薙	83
口パク	232	聞く	145	CM	106	ハゲ	81
歌う	223	衣装	142	無理	106	爆笑	81

注1)「w」と「w」の違いは、全角と半角の違いである。

注2)「SMAP」の出現回数は956回であるが、これは半角で記載されたもののみの値であり、全角での記載(「SMAP」)も80回存在していた。

Figure
&
Table

まず、「w (22,457 回)」、「w (4,919 回)」といった視聴者の笑いを示す語が上位に挙がっていた。これらの語は、多くが単独ではなく「wwwww」のような形で複数連なって書き込まれるため、出現回数が多くなったと思われる。つづいて、「中居 (2,820 回)」、「SMAP (956 回)」、「森 (819 回)」、「キムタク (687 回)」、「SMAP (280 回)」といった番組のメインである SMAP のメンバーや SMAP の旧メンバーの名前が上位に挙がっていることがわかる。また、番組の進行状況をあらわす「キタ (629 回)」「終わる (194 回)」や、放送局に関する「フジ (458 回)」、「フジテレビ (359 回)」といった語、目玉企画である SMAP ノンストップライブに関連する「曲 (434 回)」、「歌 (338 回)」、「ライブ (331 回)」、「口パク (232 回)」、「歌う (223 回)」などの語が挙がっている。その他では、「見る (410 回)」、「泣く (350 回)⁽⁵⁾」、「知る (202 回)」など視聴者側の動向を示す一般的な動詞や、「感動 (340 回)」、「凄い (190 回)」、「悪い (170 回)」、「良い (170 回)」、「糞 (166 回)」といった、視聴者の感情や番組に対する感想・評価をあらわす語が多く挙げられていた。また、「(明石家)さんま (181 回)」「太田 (光) (146 回)」「森脇 (健児) (137 回)」「嵐 (125 回)」「佐野 (アナ) (88 回)」「ザキヤマ (87 回)」「指原 (莉乃) (87 回)」「爆笑 (問題) (81 回)」といった SMAP 以外の出演者の名前も多数上位に挙がっていることが確認された。

3-5. 各パートに特徴的な語

より詳しく投稿内容の特徴を探るために、KH Coder を用いて第 I 部から第 VI 部の各パートそれぞれを特徴づける語を上位 10 個ずつリストアップしたものが表 3 である。

表 3 の結果をみると、まず第 I 部においては、該当時間の放送内容である「サザエさん」の物語に番組のメインである「SMAP」が登場人物として「出」てきたことが実況的

●表3 各パートの特徴語

第Ⅰ部		第Ⅱ部		第Ⅲ部	
w	.073	似る	.061	中居	.182
w	.046	w	.039	w	.120
声	.045	ざわちん	.027	w	.055
キタ	.037	爆笑	.024	曲	.038
SMAP	.035	ザキヤマ	.024	キタ	.030
波平	.029	ライブ	.023	キムタク	.028
サザエさん	.027	太田	.022	歌	.026
ゴロー	.017	見る	.019	ロバク	.021
サザエ	.017	面白い	.015	死ぬ	.019
出る	.016	マスク	.014	歌う	.016
第Ⅳ部		第Ⅴ部		第Ⅵ部	
w	.070	森	.083	良い	.027
フジ	.050	キムタク	.042	STAP	.027
フジテレビ	.036	SMAP	.036	SMAP	.026
後ろ	.028	フジ	.029	NHK	.026
森	.027	泣く	.024	最後	.025
森脇	.026	フジテレビ	.024	終わる	.023
歩く	.022	感動	.023	録画	.022
佐野	.022	歩く	.023	面白い	.022
鬼	.021	手紙	.021	移動	.020
死ぬ	.020	見る	.021	言う	.019

※数値は Jaccard の類似性測度を示す。



に語られていた。「声」に関しては、物語の中心であった「波平」の「声」を担当する声優が交代していた話題や、SMAP がアニメで声優を務めたことに対する感想などが投稿者の間で話題となっていた。とくに、SMAP のメンバーのなかで稲垣吾郎（「ゴロー」）が最も声優として優れていると評価している投稿が多くみられた。例えば、「波平の声はじめて聞いた」「あれ波平の声ちがくね?」、「ゴローが一番うまいw」「ゴロー声優っぽいw」「ゴローうますぎだろw w w w w」といった投稿である。このように、第Ⅰ部における投稿は、番組内容の実況や「サザエさん」という馴染みのあるコンテンツのなかで波平の声優や SMAP の登場といった新奇性がみられたことに対する反応に特徴づけられていた。

第Ⅱ部では、「ざわちん」による SMAP のモノマネメイクに反応した書き込みが多く確認された。ざわちんとは、巧みなメイク技術により自らの顔を芸能人に似せることで人気を博している女性タレントであるが、当該番組において、SMAP 全員のモノマネメイクを行い、5 人全員のモノマネメイクが完了した時点で番組で披露するという企画であった。第Ⅱ部ではこのモノマネメイクが披露され、「似ている」「似ていない」といったメイクの出来に関するコメントが多く投稿された。例えば「草なぎ似てるwww」「誰一人似てないのが逆にすごい」といった投稿である。また、ざわちんが口元に「マスク」をしていることについて「ざわちんってマスクつけてないものまね出来ないの?」「マスク取れよ」といった批判も投稿されていた。また、該当時間に登場した山崎弘也（「ザキヤマ」）や爆笑問題（「爆笑」「太田」）に言及した書き込みの多さも第Ⅱ部の特徴として示された。「面白い」に関しては、番組企画や爆笑問題のトークに関する評価にともなって多く使用されていた。例えば「面白いと思ってやってるの?」「やっぱり時事ネタ絡ませると爆笑って面白いな」「これ面白いってどれだーけハードル低いねん関東人…」「>>670 そんな関西人様はどなたが面白いんですかな?」といった投稿である。加えて、後に控えるメイン企画である「ライブ」を示す語も特徴語として挙げられている。例えば「あの流れでライブか

よ」「あとはライブだけか。つまらん。」「ライブ始まってる?」といった投稿である。このように、第Ⅱ部における書き込みは、ざわちんのモノマネメイクに対する評価や他の出演者のトークに対する反応、後につづくライブ企画への言及などによって特徴づけられていたといえる。

第Ⅲ部は、番組後半のメイン企画である「SMAP ノンストップライブ」に該当するパートである。ここではメンバーのなかでもとくに「中居」が強い類似性を示している。ほかに「w」「w」「死ぬ」という語がこの部の特徴語として挙げられているが、第Ⅲ部の共起ネットワーク⁽⁶⁾ (図2)を確認すると、これらの語は「大丈夫」といった語も含め互いに関連づけられていたことから、同一の文脈で多く用いられていることがわかる。例えば「中居 wwwwwwww」「中居が死にそう wwwwww」といった、いわば歌うことを休みだした中居に対するツッコミや失笑ともとらえられる書き込みや「中居大丈夫か…?」「中居くんマジ大丈夫か」といった中居の体調を心配する書き込みである。さらに、KWIC コンコーダンス分析⁽⁷⁾を用いて「中居」を抽出語とした文章を検索し、その前後の書き込みの記述とともに内容を確認したところ、中居が異変をきたしはじめた直後は「w」をともなったツッコミや笑いをまじえた書き込みが多いのに対し、終盤になると「w」を含む書き込みは激減し、ライブを中座したり、なかなか体調が回復しない中居を心配したりその様子を実況的に描写する書き込みが増えていった。一方、特徴語として挙げられた「キムタク」に関しては、共起ネットワークにおいて「プロ」「凄い」といった語と関連付けられていた。例えば「キムタクのプロ根性がすごすぎる 学ぶべきところだな」「キムタクがプロすぎて惚れる」「やっぱキムタクプロだわ 疲れを感じさせない」といった書き込みがあり、一部には体調を崩した中居と比較する形で木村拓哉を賞賛する書き込みがおこなわれていた。その他、「曲」「歌」「口パク」「歌う」といったノンストップライブに関連する語が特徴語として検出された。図2によると、これらの語は「SMAP」「知る」「下手」といった語と関連づけられており、例えば「この曲 SMAP だったのか」「結構

図2 共起ネットワーク（第Ⅲ部）

